

# 愛知県理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 19 名

立候補者数 : 23 名



氏名 青木 一樹

都道府県士会 愛知県

年齢 32

勤務先名称 松井整形外科



氏名 金井 章

都道府県士会 愛知県

年齢 52

勤務先名称 豊橋創造大学

### 協会・士会役員歴

|       |        |           |              |
|-------|--------|-----------|--------------|
| 2012～ | 一般社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 愛知県理学療法白書委員会 |
| 2013～ | NPO法人  | 愛知県理学療法学会 | 生涯学習部員       |
| 2014～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 愛知県理学療法白書委員会 |
| 2016～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 地域包括ケア推進委員   |
| 2017～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 情報センター部員     |
| 2017～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 総務部          |

### 協会・士会役員歴

|       |           |                   |
|-------|-----------|-------------------|
| 昭和62年 | 日本理学療法士協会 | 愛知県士会会員（現在に至る）    |
| 平成15年 | 愛知県理学療法士会 | 研修部部員（平成16年度まで）   |
| 平成17年 | 愛知県理学療法士会 | 学会研修部部員（平成19年度まで） |
| 平成28年 | 日本理学療法士協会 | 代議員（現在に至る）        |

### 立候補の趣旨

この度、公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員に立候補いたしました、青木一樹と申します。現在、会員数は全国で106,670人（愛知県5,552人）、平均年齢は33.5歳と若い世代が増加しております。

この先、目まぐるしく変化する社会の中で、リハビリテーション・理学療法をどのように発展させていくのかを、真摯に考えていかなければならないと強く感じております。20～30年後もよりやりがいを持って働き続ける事のできる素晴らしい職業であるために、今、若い世代が意見を発信する事・若い世代が協会を知る事がとても重要だと考えます。

理学療法士となり1年目から士会活動に関わり8年が過ぎました。今まで見て感じてきた事や若い世代の意見を発信していくため、立候補をした次第です。

浅学な故、多くのご指導を必要とするかもしれませんが、未来に向けて役に立てるよう尽力させていただきたく存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会・愛知県士会に入会后、約15年の間、地域の中核病院である蒲郡市民病院にて勤務し、理学療法士として実務のみならず、臨床研究、地域貢献活動に取り組んできました。その後は大学教員となり、理学療法士の養成、基礎研究に取り組んで16年弱が経過し、現在に至っています。その間、第19回愛知県理学療法学会大会事務局長や第23回東海北陸理学療法学会大会学術局学術部部長、第29回東海北陸理学療法学会大会準備委員学術局長、第48回日本理学療法学会大会演題編成担当部長を務めるなど、会員の学術・研修を支える活動を行ってきた。今後は、高度医療人養成のための臨床実習システムの構築や、基礎的な研究活動も含めた施設との連携などについて県内外への情報発信を行いながら、理学療法の将来を担う責任ある理学療法士を育成していきたいと考えている。



氏名 三宅 わか子

都道府県士会 愛知県

年齢 52

勤務先名称 星城大学リハビリテーション学院

### 協会・士会役員歴

平成17年～平成25年12月 (社)日本理学療法士協会 教育管理理学療法研究部会運営幹事(分科学会移行特別委員会協力員を含む)  
平成14年～平成24年度 (社)愛知県理学療法士協会社会局小児福祉部部長  
平成24年～平成25年度 第29回東海北陸理学療法学会大会準備委員学術局副局長  
平成24年～平成28年度 日本理学療法学会 専門領域学術大会担当  
平成25年～26年度 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 理事  
平成25年12月～現在 (公社)日本理学療法教育学会 運営幹事  
平成27年～現在 (公社)愛知県理学療法士会 理事

### 立候補の趣旨

地域包括ケアシステムの構築が推進されている今日では、対象者の医療的問題から社会的問題が混在する状況の中で、職務は医療から生活の場へと広がり提供する理学療法の質を担保せねばなりません。また理学療法士養成課程においても指定規則の改定、カリキュラムの見直しなど教育の質の向上と大学教育への完全転換期に突入しています。質の担保には養成課程から新人教育に至るまで教育レベルの一定化と連続性、生涯学習システムの構築が必要ですが体制の構築が追いついていないと感じています。効果的な理学療法の提供を保證することが求められている状況では、理学療法士ひとり一人が対象者から望まれる質について再認識をし、教育について共通した視点を持ちながら後世の育成と自己研鑽に一層の努力をしなければなりません。現在私は理学療法士養成校の教員として勤務しています。高齢者の増加に伴い理学療法士の職域は拡大していますが、理学療法士の数はいずれ飽和状態から過剰時代を迎えることが予測されます。選ばれる理学療法士の産出には質の担保された学生を新人として卒業させることが基盤となります。これはたいへん重要な理学療法士の任務のひとつです。理学療法士のさまざまな意見や活動を情報提供し、学生教育の強化と若い理学療法士が職業人として自分自身の人生、キャリアについて自己が主体となって実現することができる就労環境の整備に力を注ぎたいと思い、このたび日本理学療法士協会代議員に立候補させていただきます。よろしく願いたします。



氏名 坂口 勇人

都道府県士会 愛知県

年齢 56

勤務先名称 星城大学リハビリテーション学院

### 協会・士会役員歴

平成01年04月 愛知県理学療法士会 理事。  
教育部長、事務局長、広報部長、社会局長 等を経て、  
平成21年04月より副代表理事(至現在)。  
平成22年11月 日本理学療法士協会 代議員(至現在)。

### 立候補の趣旨

昨今の理学療法情勢を眺めると、医療費削減の影響を少なからず受け、より良い理学療法サービスの提供に従来ではなかった制約が出てきていることを感じずにはられません。このハードルを越えるためには、1つは学術・臨床の両面において創意工夫と研鑽を積むことで解決の糸口が見つかると思われれます。もう一つは、行政への理解を求めることで道が開けると思われれます。前者に対しては会員諸氏の弛まぬ姿勢を目の当たりにし皆さまにお任せすれば安心と感じておりますが、後者に対しては特定の者が担うしかないと感じております。先の参議院選挙では会員の声を国政へ届ける議員を当選でき光明を得ることができました。この結果に満足することなく継続した行政への働きかけは協会としての課題と感じております。この数年、本視点を常考し、愛知県の代議員として協会活動を見て参りましたが、次年度以降においても代議員の立場で関わりたく立候補致しますのでご支援をお願い致します。



氏名 近藤 達也

都道府県士会 愛知県

年齢 45

勤務先名称 東海医療科学専門学校

### 協会・士会役員歴

愛知県理学療法士会 社会局広報部長（平成23～28年度）  
愛知県理学療法士会 理事職能局長（平成29年～）  
日本理学療法士協会 代議員（平成28、29年）

### 立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきます近藤達也と申します。  
公益社団法人愛知県理学療法士会では、平成23年度より社会局広報部長として6年間活動させていただきました。広報部では、広報誌の発行およびホームページの管理を行い、理学療法士の広報活動に従事して参りました。  
平成29年度からは職能局長を務めさせていただきます。職能局では、理学療法士としての職域を高めることや専門職としての待遇や利益を保持・改善することを担い、活動しております。また、今年度からは介護予防事業対応のため、予防事業推進部を新しく新設させていただきました。今後はより一層、理学療法士が活躍する領域の確保・維持および向上のため、士会活動を進めていく必要があります。理学療法士を取り巻く環境が大きく変わろうとしているこのような変革期に、理学療法士がもっともっと社会に認知されるように公益社団法人日本理学療法士協会の発展にも寄与できるよう代議員として意見を述べていきたいと考えております。  
何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



氏名 清島 大資

都道府県士会 愛知県

年齢 39

勤務先名称 愛知医療学院短期大学

### 協会・士会役員歴

平成23年～平成29年  
公益社団法人愛知県理学療法士会 社会局広報部 部員  
平成29年～現在  
公益社団法人愛知県理学療法士会 社会局広報部長

### 立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきます清島大資と申します。公益社団法人愛知県理学療法士会では、平成23年度より社会局広報部の部員として活動させていただきました。平成29年度からは社会局広報部長を務めさせていただきます。広報部では、理学療法士のことをより多くの方々に知っていただくため、広報活動に従事して参りました。広報活動を通じて、理学療法士の認知度や仕事内容の理解がかなり高くなってきたことを痛感しております。一方、現在私は養成校の教員として、理学療法士の養成に携わらせていただいております。厚生労働省では、理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会が行われており、平成30年度には施行されるようなスケジュールで進んでおります。このような変革期に公益社団法人愛知県理学療法士会の代表の一人として愛知県士会員の思いが少しでも伝わるように、そして、理学療法士がもっともっと社会的に認知されるように公益社団法人日本理学療法士協会の発展にも寄与できるよう代議員として意見を述べていきたいと考えております。  
何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



氏名 加藤 文之

都道府県士会 愛知県

年齢 61

勤務先名称 名古屋学院大学



氏名 青木 一治

都道府県士会 愛知県

年齢 59

勤務先名称 名古屋学院大学

### 協会・士会役員歴

協会代議員：2004年-2017年  
愛知県士会理事：2000年-2016年  
愛知県士会監事：2017年

### 協会・士会役員歴

平成1-20年：愛知県理学療法士会理事、平成5-10年、21年-：(社)日本理学療法協会代議員、平成15-21年：(社)日本理学療法士協会生涯学習部部長、平成17年第40回日本理学療法士協会全国研修会準備委員長、平成18年第23回東海北陸理学療法学会大会会長、平成19年-：(公社)日本理学療法士協会理学療法学査読委員、平成20-21年：有限責任中間法人愛知県理学療法士会理事、平成20-NPO法人愛知県理学療法学会理事、平成21-25年：一般社団法人愛知県理学療法士会監事、平成23-25年：(社)日本理学療法士協会物理療法研究部会運営幹事、平成25年第48回日本理学療法学会大会副大会長、平成25年-：(公社)日本理学療法士協会認定試験委員会委員、平成29年-MMT&ROMテスト日本理学療法士学会試案検討ワーキング委員、課題解決型医療人材育成検討委員会

### 立候補の趣旨

会員数の増加に伴い、さまざまな問題が生じてきている。これらに迅速に対応し解決していく責務が協会並びに士会にはある。協会の方針が我々理学療法士の将来に有益であるかどうか、協会と士会との連絡や業務遂行の迅速化などが必要である。私は代議員として士会と協会の架け橋となって理学療法士の向上に努めていきたいと考えています。

### 立候補の趣旨

現在私は特定非営利活動法人愛知県理学療法学会の理事長をしています。学会の活動としては学術・教育関係を中心に行っています。近々の課題としては、2020年の養成校指定規則の改定があります。本件について愛知県学会としてどのように係るのかも重要ですが、現在の医療情勢のなかにある理学療法士を考えると、学校教育だけでなく、臨床教育についても考えざるを得ません。数だけが增加し質の低下が問われている現状があります。プロフェッショナルとしての能力が問われています。(公社)日本理学療法士協会が理学療法士の質の向上に対してどういう方向に向かい、行動していくのが、我々も注視しながら、地方より言うべきことは言い、すべきことはしていかなければならないと考えます。そのような考えの下、理学療法士の質の向上および発展に微力ながら寄与できればとの想いで立候補いたしました。



氏名 鳥山 喜之

都道府県士会 愛知県

年齢 61

勤務先名称 木村病院



氏名 岸川 典明

都道府県士会 愛知県

年齢 54

勤務先名称 愛知医科大学病院

### 協会・士会役員歴

平成19年より、日本理学療法士協会代議員、愛知県理学療法士会代表理事

### 協会・士会役員歴

|              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 昭和63年～平成6年度  | 兵庫県理学療法士会 広報部 部員            |
| 平成6年度        | 愛知県理学療法士会 教育部 部員            |
| 平成7年～平成8年度   | 愛知県理学療法士会 学術資料部長            |
| 平成8年度        | 愛知県理学療法士会 学術局生涯学習担当         |
| 平成9年～平成16年度  | 愛知県理学療法士会 教育部長              |
| 平成17年～平成18年度 | 愛知県理学療法士会 理事 生涯学習部長         |
| 平成19年        | 愛知県理学療法士会 理事 学術局長           |
| 平成20年～平成24年度 | 特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会 理事 学術局長 |
| 平成25年度～現在に至る | 特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会 副理事長    |
| 平成12年～平成24年度 | 日本理学療法士協会教育局生涯学習部 部員        |
| 平成26年度～現在    | 日本理学療法士協会代議員                |
| 平成27年度～現在    | 日本呼吸理学療法学会 運営幹事             |

### 立候補の趣旨

医療と介護は対人サービスであり、質の高い人材を継続・安定的に確保していくことが不可欠であり、人材の教育・育成に関する取組を進めることが重要である。また、人材の育成に当たっては、医療及び介護を取り巻く環境の変化に対応した継続的な研修体制等を整備するとともに、地域包括ケアシステムを構築する観点から、医療及び介護の連携の核となる人材の育成を図りつつ、多職種が連携して取り組む環境づくりを進めていくことも重要である。そのため、最低限の法令遵守や社会的貢献といった責任を果たすだけでなく住民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や交流を積極的に行わなければなりません。そのために、事業目的を明確にし、健全で継続した会の運営に取り組んでいく所存です。

### 立候補の趣旨

理学療法士は社会のニーズに応えるのが資格者としての義務と考えており、会員は自らにその責任を課せなければならなかった。そこで協会は卒後教育の一環として生涯学習システムを構築し、都道府県士会はその指導下に生涯学習システム（新人教育プログラム）を開始することとなった。私は、このシステム運用が始まった当初より、県士会教育部長を務め新人教育プログラムを推進し、2000年からは協会の生涯学習部員として生涯学習システムの普及に努めた。現在は、特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会（一般社団法人愛知県理学療法士会の学術、教育機能を担う団体）の副理事長として、事務局、学術局、教育局等の管理者としての理事長の補佐として会員の資質向上を図るべく本務に臨んでいる。協会が進める、理学療法学会、専門・認定理学療法士制度の円滑な展開と県士会員が混乱なくその道を進めるよう、協会と士会間の架け橋になればと立候補した次第である。また、国の医療に関する政策をより迅速に把握し、会員への周知を図りたく思っている。



氏名 池野 倫弘

都道府県士会 愛知県

年齢 39

勤務先名称 てっく訪問看護ステーション



氏名 野々垣 聡

都道府県士会 愛知県

年齢 39

勤務先名称 愛知県青い鳥医療療育センター

### 協会・士会役員歴

平成23年10月から平成26年3月  
一般社団法人 愛知県理学療法士会 事務局 総務部長

平成26年4月から現在  
公益社団法人 愛知県理学療法士会 事務局 総務部長

平成23年10月から現在  
特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 事務局 総務部長

### 協会・士会役員歴

- ・2011年4月～2014年3月  
一般社団法人 愛知県理学療法士会 名古屋北ブロック運営委員
- ・2013年5月 第48回日本理学療法学会 運営委員
- ・2014年4月～2015年3月  
公益社団法人 愛知県理学療法士会 名古屋北ブロック運営委員
- ・2015年5月～現在 特定非営利活動法人愛知県理学療法学会 広報部長
- ・2017年2月～現在 日本理学療法士学会 理学療法ガイドライン 第2版  
小児理学療法ガイドライン 脳性麻痺児システムティックレビューチームメンバー
- ・2017年3月 第26回愛知県理学療法学会 準備委員長

### 立候補の趣旨

平成23年より愛知県士会・愛知県学会の事務局総務部長に拝命されております。県の意向が協会に反映されるよう努めていく所存です。

### 立候補の趣旨

現職場に勤めて16年、小児の理学療法に携わっています。この間、入所や外来の子どもたちへの理学療法だけではなく、地域の子どもの巡回相談や、医療型児童発達支援センターにおける療育の中の理学療法などにも携わりました。

2012年には、基金の助成を得て、1ヶ月ほどカリフォルニアの小児病院や施設で、小児理学療法の研修を受けることができました。現在はWGPTの小児のサブグループであるIOPTPのResearch Memberも務めさせていただいています。

子どもたちは大半を学校で過ごしており、学校生活を支えていくことは小児理学療法士の大切な役割だと考えています。そこで一昨年には、特別支援学校自立活動教諭（肢体不自由教育）の免許を取得し、自立活動の知識を持った上で教員の方々との連携をはかっています。しかし、個人レベルでの連携には限界があり、もう少し大きな枠組の中で教育と連携していく必要性を感じています。他都道府県と比べ、愛知ではこれらの連携が遅れているように思います。また、教育だけではなく、医療・福祉においても関係機関との連携がまだまだ不十分だと思っています。

これらの課題に対して、協会や士会の力をお借りしながら、今まで培った経験を活かし、支援が必要な子どもたちの生活を支えていくを考えていきたいと思っています。



氏名 星野 茂

都道府県士会 愛知県

年齢 54

勤務先名称 蒲郡市民病院

### 協会・士会役員歴

H. 14～現在 日本理学療法士協会代議員  
H. 16～現在 愛知県理学療法士会理事（副代表理事 事務局長 表彰委員長歴任）  
H. 20～現在 愛知県理学療法学会理事（副理事長 事務局長歴任）  
第48回日本理学療法学会大会副大会長  
第29回東海北陸理学療法学会大会準備委員長

### 立候補の趣旨

理学療法士の質の向上・職域拡大維持に向け、地域包括ケアシステム推進、教育指定規則見直し、生涯教育システムの再編など、現在理学療法士を取り巻く環境は激変の時代を迎えている。今こそ、協会本部と各都道府県士会が一つの方向を向き、更には力を強化して取り組むべき時である。そのためには、士会活動と協会活動の融合と各士会の基盤強化が必須である。私は、現在愛知県理学療法士会の理事・事務局長として士会運営のかじ取りの一端を担わせて頂いております。協会活動と士会活動の融合を目指し、協会代議員へ立候補いたしました。



氏名 上原 徹

都道府県士会 愛知県

年齢 41

勤務先名称 名古屋市立西部医療センター

### 協会・士会役員歴

平成23年～現在 名古屋北ブロック 委員  
平成26年～28年 白書委員会 急性期担当リーダー

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会の代議員に立候補した名古屋市立西部医療センターの上原徹です。現在、私は脊椎関連および整形外科疾患の急性期医療に携わっております。急性期医療の現場においては、多職種による連携のとれたチーム医療が重要であり、さらにチーム医療を進めるには、我々にも高度な専門知識や技術が求められています。また地域医療においても、地域包括ケアシステムの構築にむけた医療・介護・福祉の連携が重要である点からも我々に求められているニーズは多様かつ高度なものとなっています。愛知県士会においては会員数が5000人を超え、その大部分を若手理学療法士が占めている現状にあり、若い世代の活躍が必要不可欠であると思います。若い世代の理学療法士の中には、士会活動についても良く分からないし、身近に適切にアドバイスしてくれる、また聴きやすい先輩や上司がいない方も多いと思います。日々臨床の場面で悩んでいる若い世代の理学療法士が県士会の活動に興味をもち、さまざまな分野でさらなる研鑽を積むことが出来れば今後の県士会の発展につながるものと考えております。そのためにも知識も経験も豊富な理学療法士と若手理学療法士を“つなぐ”役割が出来ればと思っております。皆様のご意見に向き合い、県士会の活性化を図るため努めて参りたいと思ひ微力ながら代議員に立候補致します。どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。





氏名 熊澤 輝人

都道府県士会 愛知県

年齢 56

勤務先名称 名古屋市立西部医療センター



氏名 梅田 典宏

都道府県士会 愛知県

年齢 38

勤務先名称 (株)ジェネラス

### 協会・士会役員歴

協会役員歴  
平成9・10年度 (社)日本理学療法士協会保健福祉事業  
虚弱高齢者等の予防リハビリテーション指針の作成委員会委員長

士会役員歴  
平成19年～26年度 一般社団法人愛知県理学療法士会理事・社会局長  
平成27年～28年度 公益社団法人愛知県理学療法士会理事・社会局長  
平成29年度～ 公益社団法人愛知県理学療法士会理事 (組織委員会委員長・白書担当)

### 協会・士会役員歴

士会  
平成29年～職能局 業務推進部  
協会  
平成23年 業務推進部

### 立候補の趣旨

この度の代議員の選出にあたり、これまでの協会や県士会での活動経験を生かし、微力ながら協会との橋渡しをすることで、県士会の発展に貢献・寄与することが出来ればと考え立候補を決意しました。

### 立候補の趣旨

私は、理学療法士免許取得した平成15年からずっと地域、在宅という主に介護保険分野のフィールドで働いてきました。ありがたいことに先駆的にその分野で活躍される方々のお話を聞く機会を沢山いただき、多くのことを学ばせていただきました。そのようななかで、3年ごとの介護保険制度改定、6年ごとの医療・介護同時改定のたびに新たな課題が生まれ、現場で働く上でも困惑することも多々ありましたが、学ばせていただいたことを糧に前向きにチャレンジすることもできました。

制度改定に対して、現場での創意工夫も必要ですが、より良いリハビリテーションを国民に届けるためには、制度にアプローチする政治力も重要です。

これからの理学療法士の職域として、専門性を高めていくことも重要ですし、広げていくことも重要です。

広げていくことに関しては、新たな発想や特に政治的なアプローチも必要と考えています。私自身、先見の目をもって、物事を考え推し進める能力には乏しいと感じておりますが、そのような能力を持って精力的に進める方を応援致したく、この度立候補いたしました。



氏名 江口 雅之

都道府県士会 愛知県

年齢 50

勤務先名称 中部労災病院

### 協会・士会役員歴

平成25年 愛知県理学療法士会 理事  
平成27年 愛知県理学療法士会 理事（組織委員長）

### 立候補の趣旨

これまで日本理学療法士協会会員として30年、協会や愛知県理学療法士会の事業に参加、活動してきました。今後も協会、県士会の活動に尽力し愛知県士会から協会の発展に繋がる情報や意見を発信したいと考えております。



氏名 熊谷 泰臣

都道府県士会 愛知県

年齢 57

勤務先名称 善常会リハビリテーション病院

### 協会・士会役員歴

平成5年～平成8年 愛知県理学療法士会規約審議委員会委員  
平成10年 愛知県理学療法士会新介護システム等対策委員会委員  
平成15年～平成17年 愛知県理学療法士会社会局保険部長  
平成18年～平成24年 愛知県理学療法士会職能局保険部長  
平成25年 東海北陸理学療法学会大会事務局長  
平成27年～28年 愛知県理学療法士会理事 職能局長 地域包括ケア推進委員会委員  
平成29年～ 愛知県理学療法士会 副代表理事

### 立候補の趣旨

これまで愛知県理学療法士会において保険部において診療報酬介護報酬の改定時に、会員の皆様から質問を頂きそれに少しでも対応できるようにしてきました。また、会員の増大と各病院の人員の拡大に対しても、情報の収集と共有に努めてまいりました。平成27年より理事及び職能局長、平成29年より副代表理事を拝命し、ますます責任の重さを感じながら、地域包括ケアシステムの構築への経過の中で、理学療法士の存在と、その役割から社会における必要性を啓発すべくこれからも活動します。この愛知県での取組みを伝え、また、先進的な地域の知恵を頂きながら、継続して活動すべく立候補致しました。今後も、精一杯努力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。



氏名 都築 晃

都道府県士会 愛知県

年齢 42

勤務先名称 藤田保健衛生大学医療科学部

### 協会・士会役員歴

|       |        |           |                         |
|-------|--------|-----------|-------------------------|
| 2009～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | ブロック局名古屋南ブロック長          |
| 2013～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | ブロック局名古屋ブロック長           |
| 2015～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | 理事 地域包括ケア推進担当           |
| 2015～ | 公益社団法人 | 日本理学療法士協会 | 地域包括ケア対策本部コアコンピテンシー検討委員 |
| 2016～ | 公益社団法人 | 日本理学療法士協会 | 代議員                     |
| 2017～ | 公益社団法人 | 愛知県理学療法士会 | ブロック局長                  |

### 立候補の趣旨

県士会役員と協会代議員として活動させていただきました。  
 今後のさらなる急速な変化のなかで  
 協会と愛知県の情報共有や、愛知県特有の課題解決にむけた  
 情報収集も代議員の役割であると考えております。  
 上記を進めるために立候補いたします。



氏名 太田 進

都道府県士会 愛知県

年齢 49

勤務先名称 星城大学リハビリテーション学部

### 協会・士会役員歴

NPO法人愛知県理学療法学会学術誌部長 (2011年から)  
 NPO法人愛知県理学療法学会理事 (2017年から)

### 立候補の趣旨

本年度よりNPO法人愛知県理学療法学会の理事として、協会に関連する活動に関わらせて頂いています。  
 私は、市民病院にて臨床12年、海外研究留学2年、臨床3年(うち市役所兼務)、  
 大学教員11年目と、いろいろな立場から理学療法士の活動を経験してきました。  
 微力ですが自分の経験を活かし代議員として、協会の活動のご支援ができればと考え立候補させて頂きました。よろしくお願い致します。



氏名 村上 忠洋

都道府県士会 愛知県

年齢 52

勤務先名称 中部リハビリテーション専門学校



氏名 森嶋 直人

都道府県士会 愛知県

年齢 52

勤務先名称 豊橋市民病院

### 協会・士会役員歴

- 日本理学療法士協会
  - 2007-10年：教育局研修部 部員
  - 2011-12年：教育局研修部 部長
  - 2011年：研修体制統合特別委員会 委員
  - 2012-13年：第48回日本理学療法学会（愛知） 広報局長
  - 2013-17年：生涯学習業務執行委員会 委員
  - 2014-18年：代議員
  - 2015-18年：企画研修小委員会 委員
  - 2017-18年：課題解決型高度医療人材育成検討委員会 委員
- 愛知県理学療法士会（NPO法人愛知県理学療法学会を含む）
  - 1995-00年：学術局教育部 部員
  - 2001-04年：学術局研修部 部長
  - 2005-07年：学術局学会研修部 部長
  - 2007年：第18回愛知県理学療法学会 大会長
  - 2008年：NPO法人愛知県理学療法学会 学術局研修部 部長
  - 2008-10年：NPO法人愛知県理学療法学会 学術局学術大会部 副部長
  - 2011-14年：NPO法人愛知県理学療法学会 学術局学術大会部 部長
  - 2015-18年：NPO法人愛知県理学療法学会 理事

### 立候補の趣旨

17年間理学療法士養成校の教員として働いて、卒前教育のみでなく、卒後教育の重要性を痛感しております。この様なことから、愛知県理学療法士会（NPO法人愛知県理学療法学会を含む）（以下、士会）や日本理学療法士協会（以下、協会）の役員として、理学療法士の卒後教育に関わって参りました。こうした経験を踏まえ、今後も理学療法士の卒前および卒後教育の充実を目指す活動を推し進めて、協会や士会の活動に尽力出来ればと考えております。

### 協会・士会役員歴

- 協会活動
  - ～2008年（平成20年）まで
  - 愛知県理学療法士会学術誌部、生涯学習部部員
  - 2003.3.（平成15年）
  - 第13回愛知県理学療法学会準備委員長
  - 2009.3.
  - 第19回愛知県理学療法学会大会長
  - 2009.4～
  - 特定非営利活動法人愛知県理学療法学会理事
  - 2010～
  - 日本理学療法士協会代議員
  - 2015.6～
  - 特定非営利活動法人愛知県理学療法学会理事兼教育局長

### 立候補の趣旨

今日、医療・介護を取り巻く現状は大きなうねりの中にあります。2018年4月の医療・介護同時改定を前に、地域包括ケアシステムはすでに動き出し、各専門職が様々な連携を持って来たるべき2025年を乗り越えようと必死の覚悟です。理学療法士も医療・介護・予防の現場を担う職種として正念場を迎え、いかに良いサービスを提供すべきか模索しています。これまで日本理学療法士協会は、地域包括ケア推進リーダーや介護予防推進リーダー育成、さらに管理職養成を柱に人材育成を図ってきました。しかし、地域に戻ると、我々理学療法士の現状については相変わらず「数は増えたが質はどうか」という声も多く寄せられ、学校教育や臨床教育変革が急務といえます。

私は、現在まで職場や特定非営利活動法人愛知県理学療法学会の活動を通して地域のネットワークづくり、研修・学会活動の充実を図るため微力ながら関わってきました。全国組織改革途中の日本理学療法士協会活動に関しても、地域の意見を集約し「理学療法士の質向上」を目指し問題提起をしていく所存です。ご協力よろしく申し上げます。



氏名 西山 知佐

都道府県士会 愛知県

年齢 46

勤務先名称 名南病院

## 協会・士会役員歴

【士会役員歴】 平成14～23年 健康福祉部長  
平成23～26年, 29年～現在 愛知県理学療法士会 理事  
平成23年～28年 白書委員長  
平成24, 27～28年 災害対策委員長  
平成29年～現在 表彰委員長  
【協会役員歴】 平成23年～28年 白書委員  
平成26～29年 代議員

## 立候補の趣旨

愛知県理学療法士会の事業に参加させていただき、私自身にとって良い経験をさせていただけることに感謝しております。こうして活動できるのは、皆様のおかげだと思っております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

年々、理学療法士を取り巻く環境は厳しくなっています。その課題は、理学療法士の資質や社会貢献、多岐にわたりますが、一方で介護予防や地域包括ケアシステムへの参画など、周囲から注目もされています。

社会の期待に応えるために、私たち一人一人が努力するのはもちろんですが、職能団体としての活動も不可欠です。また、各都道府県士会だけでなく、日本理学療法士協会と連携を取り、互いに協力し合う体制が必要です。時に協会との認識のずれが生じることがありますが、そのような場合には各都道府県から、あらゆる現場から声を上げ、互いの認識を共有する必要があると考えています。

本会は会員の皆様によって支えられています。微力ではございますが、これからも皆様のために努力する所存です。今後共皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。